

2011年5月9日

中国、マレーシアで環境対応エポキシ封止材の生産能力増強

日立化成工業株式会社(本社：東京、執行役社長：田中 一行、資本金：155億円)の子会社である日立化成工業(蘇州)有限公司(本社：中国江蘇省蘇州市、董事長兼総経理：五箇 栄、資本金：3,250万US\$、以下、日立化成工業(蘇州))と、Hitachi Chemical (Malaysia) Sdn. Bhd. (本社：マレーシアペナン、取締役社長：中野 頼宏、資本金：1,300万マレーシアドル、以下、マレーシア日立化成工業)は、中国、東南アジアにおける環境対応材を中心としたエポキシ封止材の需要拡大に伴い、総額約15億円を投じて、両拠点の生産能力を約4割増強することを決定し、着工を開始しました。2011年から2012年の完成を目指します。

中国における半導体産業は、タブレット PC やスマートフォンなどのデジタル機器の需要に支えられ、日本、台湾地域、欧米、韓国などの有力半導体メーカーが前・後一貫工程の大規模工場を稼働させており、中国企業も半導体生産を行っています。近年の環境配慮への意識の高まりから、環境対応材を中心としたエポキシ封止材の需要が高まっています。また、東南アジアにおいても、日本、欧米などの有力半導体メーカーが生産を拡大していますが、今後更に環境対応エポキシ封止材の需要が高まると見られています。

日立化成グループは、中国市場には日立化成工業(蘇州)より、東南アジア市場にはマレーシア日立化成工業より、環境対応材を中心としたハイエンドのエポキシ封止材を積極的に拡販してきましたが、今後の更なる需要拡大を取り込むためには生産能力の増強が不可欠と判断し、今般、それぞれの拠点に総額約15億円を投じて、両拠点の生産能力を約4割増強することにしました。生産能力増強により中国市場では数年内に、日立化成工業(蘇州)のエポキシ封止材の売上高に占める環境対応材の比率を約9割に、東南アジア市場においてはマレーシア日立化成工業のエポキシ封止材の売上高に占める環境対応材の比率を約6割に引き上げる計画です。

日立化成グループは、日本、中国及びマレーシアでエポキシ封止材を生産しておりますが、今般の生産能力増強により、年間供給能力を約35,000トンに引き上げます。これにより、更なる安定供給体制を確保するとともに、日立化成グループのエポキシ封止材の売上高に占める環境対応材の比率を8割強に引き上げます。日立化成グループでは、今後も、環境に配慮した製品の供給とお客様に密着した技術サービスを通して、お客様のご要望にお応えしてまいります。

以上

《ご参考》

1. 日立化成工業(蘇州)有限公司の概要 (2011年3月末現在)

社 名 : 日立化成工業(蘇州)有限公司
所 在 地 : 中国江蘇省蘇州市蘇州工業園区興浦路198号
代 表 者 : 董事長 兼 總經理 五箇 栄
事 業 内 容 : 半導体用エポキシ封止材及びプリント配線板用感光性フィルムの製造及び販売
資 本 金 : 3,250万US\$
設 立 : 2005年2月
株 主 : 日立化成工業株式会社 100%
従 業 員 : 365名
今回投資額 : 約5億円
生 産 能 力 : 半導体用エポキシ封止材約8,500トン(年ベース、今回生産能力増強後)、プリント配線板用感光性フィルム約1億m²(年ベース)
本 格 稼 動 : 2011年11月(予定)



【写真: 日立化成工業(蘇州)有限公司】

2. Hitachi Chemical (Malaysia) Sdn. Bhd. (2011年3月末現在)

社 名 : Hitachi Chemical (Malaysia) Sdn. Bhd.
所 在 地 : Plot 501, Prai Industrial Estate 13600 Prai, Penang, Malaysia
代 表 者 : 代表取締役 中野 頼宏
事 業 内 容 : 半導体用エポキシ封止材及びダイボンディング材料の製造及び販売
資 本 金 : 1,300万マレーシアドル
設 立 : 1989年4月
株 主 : 日立化成工業株式会社 100%
従 業 員 : 160名
今回投資額 : 約10億円
生 産 能 力 : 半導体用エポキシ封止材約8,500トン(年ベース、今回生産能力増強後)
本 格 稼 動 : 2012年5月(予定)



【写真: Hitachi Chemical (Malaysia) Sdn. Bhd.】